

ホール誘導灯消灯申請について

1. 誘導灯の消灯及び点灯方法

- ・ 誘導灯の消灯は、調光室内のスイッチにより手動で行ないます。
- ・ 非常の際、火災報知設備の警報と連動して、避難口誘導灯が点灯します。
- ・ 休憩時および終演時には、客席照明と連動して、避難口誘導灯が点灯します。
従って、客席照明を残したまま避難口誘導灯を消灯することはできません。
- ・ この他、危険防止のためおよび止むを得ない事情によって点灯が必要と認められる場合には、手動操作により点灯します。

2. 消灯できる誘導灯の範囲

- ・ 消灯できるのは、避難口誘導灯のみです。客席誘導灯（足元灯）の消灯はできません。
- ・ 入場者の客層（高齢者および幼少者）、公演内容によって誘導灯の消灯が危険であると認められる場合には消灯することができません。

3. 消灯の単位

種 類	場所及び数量	消灯単位
ホール 避難口誘導灯	客席：出入口4ヵ所 各1灯 計4灯	一 括

4. 消灯の条件

- ・ 誘導灯の消灯は、必要最低限の範囲内で行なってください。
- ・ 消灯時の観客への対策については、以下のとおり行なってください。

避難口誘導灯 消灯時の対応	主催者の責任において客席各扉に懐中電灯等を所持した案内要員を配置してください。
------------------	---

- ・ 公演開始前、場内放送等によって入場者に対し「開演中、誘導灯を消灯するが、非常の際には（誘導灯が）点灯する」旨を周知してください。
（例）「本日の公演は、演出上の都合により、開演中に誘導灯を一時消灯いたします。
なお、非常の際には、誘導灯は点灯いたしますが、あらかじめ非常口の位置などをご確認いただきますようお願い申し上げます。」

5. 消灯申請の手続き

- ・ 使用日の7日前までに所定の「誘導灯消灯申請書」に必要事項を記入の上、区民文化センター事務室（1階）へご提出下さい。
- ・ この他、「タイムスケジュール」・「人員配置計画書」を添付書類としてご提出下さい。